

授業科目 職業関連作業療法学演習

【担当教員名】 貝端正人	対象学年	3	対象学科	作業		
	開講時期	後期	必修・選択	必修		
	単位数	1	時間数	30		
【<概要>又は<一般目標: G I O>】						
職業関連活動に関する評価法や技法を修得する 社会の中の障害者の現状を把握し、作業療法の役割や具体的な方法について学ぶ						
【<学習目標>又は<行動目標: S B O>】						
1. 職業関連活動に関する評価に必要な情報と収集方法が述べられる 2. ICFを使用し就労支援への技法を検討できる 3. 標準化されている、職業関連の評価を実行できる 4. フィールドワークを通じて職務分析ができる						
回数	授業計画又は学習の主題			SBO		
				番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員		
1 職業に関連する評価				1		
2 評価を読み取る視点とその活用				1		
3 職業準備				2		
4 支援計画				2		
5 職業興味検査の実施とその解釈				3		
6 GATB評価の実施とその解釈				3		
7 内田クレベリンの実施とその解釈				3		
8 MODAPTSの実施とその解釈				3		
9 職業レディネスチェックリストの実施とその解釈				3		
10 場面設定表				3		
11 シングルケース (ICF使用) にて就労支援の検討				2		
12 職務分析				4		
13 フィールドワークを通じて職務分析をおこなう				4		
14 グループ発表				4		
【使用図書】						
教科書 (必ず購入する書籍)	<書名>		<著者名>	<発行所>		
	職業関連活動		早川宏子	協同医書出版		
参考書	<発行年・価格・その他>					
	2000年 2600円					
その他の資料	職業リハビリテーション入門 国際生活機能分類		菊池恵美子	協同医書出版		
	2001年 3800円		中央法規	2002年		
【評価方法】 レポート、発表、出席						
【履修上の留意点】						